

Start	Time	Agenda—2021	Description / Owner	Minutes
2021/2/27 APU校友会ボード会議アジェンダ				
11:00～13:00 zoomで実施				
参加者Participate				
国嘉こか、Huang Michelle、萩原慶子、泉美帆、Channa Anandagoda、Nualpan Kunakornpaiboonsiri				
Zhang Mengdi、前原博信、芦村夢樹、石井泰乃、鬼塚亮輔、樹下有斗、谷川和哉、吉田聖嵩				
篠崎裕二、HSIUNG Hann shiuh、衛藤萌				
(敬称略)				
10:40	20	代表、副代表会議		
11:00	10	自己紹介(近況、今年やろうとしていること)	ボードメンバー、監事、顧問	
11:10	10	ショーンさん紹介事務局自己紹介大学・事務局からの連絡事項	事務局	卒業式(3/19)はミレニアムホールでハイブリット(対面、オンライン)開催。午前午後の2回開催。コロナ感染防止の観点から来賓は招致しない予定。春セメからの講義はなるべくキャンパスで開講予定。内容によってはオンラインと対面のハイブリットもあり。学生がキャンパスに戻ってこれるように準備している。APU Handsの活動は3月で最終回を迎え、一旦活動は終了予定。昨年12月末時点で延べ5000名近くの学生に支援を行ってこれました。ご協力ありがとうございました。
11:15	15	各チームの報告・2021年度の活動(1)学生担当(2)PR担当(3)チャプター担当(4)校友担当	学生担当、PR担当、チャプター担当、校友担当	(1、2)Self-Accomplishment Team(真殿) ミシェルさんから引き継ぎました。「校友会の魅力が一目で伝わるPR」ということで伝えていただいていたかと思いますが、それを「校友会の魅力についても触れられるPR」という形でやっていたかと思ってる。PR動画が3月に公開されるので、広報していきたい。来年度の活動としては、卒業生からの入学・卒業祝いのメッセージをもらう予定と、リーダーズミーティングの動画を撮影しようかと考えている。新しいコミュニケーションが生じられることを期待して作成できたらと考えている。Loop.A.S.、いろいろな活動を行っている、サポートしていきたいと思っている。文章や動画で情報、活動を記録しておいてもらうように依頼をしている。それを用いて校友会で発信していきたいと考えている。 (3、4)校友担当、チャプター担当(萩原) 2020年度Social Development Grant 2件採択。2021年度については別の形の活動にしようかと検討中。グループに関しては、5グループ目ができそう。チャプターに関しては、2021年度、昨年度と同様にオンラインのRLM開催にするか、新しい方向性について考えていく必要があると考えている。
11:30	10	財務(1)2020年度執行状況(2)2021年度予算案	鬼塚	(鬼塚) 今年度の財務状況について説明。 今年度は代理徴収を行い、国内学生から主に収入を得て、支出より収入のほうが大きく上回っている。今年はチャプター予算やボードミーティング費用が出ていないため支出が少なくなっている。収支としてはプラス。 一番大きな支出は広報(委託費)。その次がコンサルタント委託料、システム料、大学支援(Social Development Grant)、交通費と続く。 財務というのはボードのものでもチャプターのものでもない、使い方については双方で考えていく必要があると考えている。 (衛藤) チャプターへの支出は30万程度、広報の主な支出はPR動画制作費50万。 来年度は逐次財務状況をボードメンバーやチャプターリーダーに公開していきたいと思っている。(ポートフォリオなど含め) 来年度予算については、財務担当が予算計画に対してNOということはない予定。ボードメンバーそれぞれが財源を見ながら考えてほしい。 今年度は各チャプターに定額支給していたが、コロナの影響で3チャプターのみ支給となった。3チャプターには収支報告書を提出いただく予定。収支報告書のホームページへの公開も考えたが外部への公開が必要でないかなとも思ったため、内部でしっかり透明性を確保することで、公開しない方向にした。 来年度の予算について各チャプターには、昨年12月に、今年度の予算をスライドさせるということで文章を発送し、ご理解を頂いた。 お金を出すことで人が集まることにつながるのを防ぐため。今はオンラインなどでよりつながるように活動されていて、お金が出てくることがあると感じている。 (吉田)財務状況の共有は今まで四半期ごとに行っていたけれどそれを変えようということですか？ ⇒(鬼塚)定期的に共有はしている。今までもっと共有資産について考えて、財務一人が予算について考えるのではなく、みんなで予算の使い方について考えていきたい。 ⇒(こか)みんなで財務、予算の使い道についてご意見いただければ。 ⇒(真殿)広報、Loop.A.S.などアクションが増えていきそうなので、今の段階で来年度予算をすべては決められないところがあるので、逐一予算について考える機会をいただけたらと思います。 (鬼塚)チャプターの予算決定は総会参加者(対面)の人数による、これがコロナによりこのルールが崩れたので、2022年度以降はこの方法をやめて、全チャプター一律の定額支給に変更していきたいと考えている。定額費用に関しては、各チャプターリーダーやチャプターを支える方の活動応援費用として自由に使ってもらいたいと考えている。定額支給の意味合いを変えていければ、各チャプターから意見が上がることも理解している。対話を重ねていきたいと思っている。 コミュニティを作りたいというニーズがあるので、新しくコミュニティに対して予算を付けていきたい。2021年度からできたかと思ってるが、準備がもっと必要であれば2022年からでも考えている。現状はチャプターにお金を出しているが、チャプターから一人一人に金が渡っているかと言えそうでもないと感じているので、チャプターをささずないと校友会からサポートを受けられない状況に問題意識を感じているため。 (前原)支給比率の廃止について、廃止するありきで話をするとチャプターもみなさん戸惑うとおもうので、廃止ありきではなくみなさんの意見を踏まえるという形にした方がよいと思う。 ⇒(鬼塚)廃止ありきでよいのではと思っている。お金の使い方についての対話かなと思っている。 (吉田) グループとコミュニティの違いは？ ⇒(鬼塚)グループは制度的に使いにくいと思っているので、もっとフランクに集まる形が作れたらと考えていて、それに対して予算を付けて応援できたらと思っている。APUの校友会員は在校生も含めるという話があったと思うので、どのように整理していくかも含めて考えていきたい。 ⇒(吉田)グループの申請方法を簡単にするのはダメなのか？ ⇒(鬼塚)グループを作成するとホームページへ公開などあるけれど、そのような団体ではなく、小さかったり公開しなかったりするようなコミュニティでもお金を使えるように。 (泉) 年間ファンタイム1万円？ ⇒(鬼塚) そういう詳しい部分はもっと検討が必要ですが、ひとまず概念について検討したいと思っている。 (泉) 各チャプターについて校友会とはどう存在なのかについて聞いて、アフターコロナはどういう状況になるのかなど、オープンにRLMなどで話し合うのはどうか。 チャプターリーダーの意見を聞き出すことも重要だと思う。
11:40	30	2021年度の活動について(1)2020年度全体の振り返り3分(2)副代表交代承認(ミッシェル→真殿)2分(3)R2030-10分(4)2021年度新体制について(案)15分	koka、真殿	(コカ) 事務局長変更 尾場瀬→ショーン 2021年度副代表 ミシェルさん⇒真殿さん ミシェルさん8年間ボードの活動ありがとうございました。 真殿さん 副代表ボード承認。 2020年度は年4回ボードミーティング、RLMもオンライン開催できた。Loop.A.S.の活動への参加やSocial Development Grantの活動もできた。 校友会PRビデオも作成できた。 (真殿)*詳細は資料参照 APUの2030ビジョンについて APUの6つのアクションプラン APUで学んだ人たちが世界を変える。グローバル・ラーニング・コミュニティについて説明。 背景の課題、アクションプランについて説明。 校友会もこれに寄り添いながら活動していいものではないかと思っている。 (コカ) 校友会のビジョンはグローバルファミリーと自己実現、それに加えて皆さんそれぞれのビジョンもあると思う。自分がボードに入りたかった時の気持ちを思い出して活動していかれたらと思う。 校友会のビジョンを実現するために、ボードと事務局はチャプターとLoop.A.S.の活動をサポートしていく。 組織をより活動しやすくするために、継続的な活動とプロジェクトベースの活動を分けるのはどうか。プロジェクトチームについてはメンバーも変えられるようにオープンしていきたい。 2021年度サポートチームの活動に向けてアンケートを実施予定。 アンケート結果をもとに新体制について考えていきたい。何か質問や意見があれば教えてください。 (鬼塚) 副代表などもプロジェクトに携われるイメージですか？ボードメンバーが増える感じですか？ ⇒(コカ)兼務してもOK。メンバーは増えない。
12:10	30	タスクフォース(1)概要説明5分(タスクフォースメンバーより現在までの活動について)(2)大学側の意見10分(ショーンさん)(3)意見徴収15分	タスクフォースチーム	(吉田) 2年以内に大学の代理徴収はやめなければいけないという認識でタスクフォースを作り、代理徴収をやめるとみなさんにお伝えしていましたが、再度大学と話をする中で期間までにやめなければいけないというわけではないことが分かったので、いったん代理徴収は保留することにしたい。一旦保留することでチャプターリーダーや学生団体なども含めて意見交換する時間もでき、いい機会になると考えている。 (鬼塚) タスクフォースがやろうとしていること ①代理徴収をやめる(202x年) 国内学生、国際学生フェアに徴収する制度を作りたい ②プラットフォームをつくる 一人一人が輝けるオープンイノベーションプラットフォームを作る。 校友会はオープンイノベーションプラットフォームの事務局をする。 ・校友会費をどのように徴収するか。 ・プラットフォームをどのように作るのか。コンテンツをどのように整備するか。 プラットフォームが落ち着くまでは、代理徴収は保留可能とわかったので、みんなでもよいものを作り上げていきたいと思っている。 タスクフォースメンバーだけではなくボードメンバーとも一緒に作り上げていきたい。 (ショーン)大学から 校友会の課題感 ■卒業生・在学生・大学間のコミュニケーションの活性化 ・GOAL講義(2020年度51名の登壇者、オンライン開催) ・サークル同窓会の活性化(グループ、コミュニティなど小さな単位、RA経験者、GASS経験者、同じゼミなど活発に集まって活動ができたかと考えている。) ・Loop.A.S.との協働(Loop.A.S.のインタビューを用いて卒業生の活躍、経験などをより多くの人に共有できたらと思っている。また、キャリアイベントなど、大学のオフィスもより協働していきたいと思っている。) ■卒業生および在学生間での校友会の認知度アップについて ヨーロッパ、関東、関西チャプターのイベントに多くの在学生からの参加があった 2021年度も卒業生企画に引き続き在学生が参加していかれたらと思っている。 ■お知らせ みらい創造寄付のホームページ上の寄付の入り口が変わります。 2021年秋より授業料納付書の郵送が廃止され電子データ送付の実になるため、校友会会費についての案内もe-mailになる予定。 (吉田) プラットフォームに関しては多面的な視点でみていく必要があると考えている。 タスクフォースに関しては今日は時間が来たので、また機会を設けていきたいと思っています。
12:40	15	まとめ	代表	大学からの視点よくわかりました。ありがとうございました。大学とも連携していきたい。吉田さんには引き続き顧問をお願いしたい。→顧問継続についてその場で承認された。